

半蔵門線新型車両 18000 系いよいよデビュー！

2021年8月7日（土）より運行開始します！

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）では、半蔵門線新型車両 18000 系を 2021 年 8 月 7 日（土）より運行開始します。

18000 系は、約 40 年にわたり活躍中の 8000 系に代わって導入される半蔵門線の新型車両です。半蔵門線は、渋谷、表参道、清澄白河、押上など伝統と新しさが交じり合う街を結び、相互直通運転により埼玉県から神奈川県までを繋ぐ路線で、日々多くのお客様にご利用いただいています。18000 系は、「伝統と新しさが交じり合う街に更なる活力を」をコンセプトに、8000 系や 08 系の端正な表情を受け継ぐとともに、路線カラーのパープルを基調とした配色とし、沿線の街に更なる活力を与えるようなデザインとしています。

本車両は、幅広いお客様の様々な乗車目的に寄り添えるよう、バリアフリーの促進をはじめ、安全・安定性、快適性、省エネ性を飛躍的に向上させています。総合指令所などから走行車両の機器状態をモニタリングするシステムの導入や、消臭・抗菌・抗ウイルス加工が施された座席表地の採用、そして各車両のフリースペース設置に加え、その近傍のドアレールに切り欠き加工を行い、車いすやベビーカーをご利用のお客様の乗降性を向上させるなど、すべてのお客様に安心してご利用いただける車両となっています。

今回の導入を皮切りに、2025 年度までに 19 編成 190 両を導入し、8000 系と置き換える予定です。

新しくデビューした半蔵門線の新型車両 18000 系に是非ご乗車ください。



半蔵門線 新型車両 18000 系の主な特徴

1. デザイン

- ・エクステリア
従来の 8000 系車両や 08 系車両の端正な表情を受け継ぎ、前面から側面の形状に合わせて、直線的な形状のヘッドライトを配置することで、親しみやスタイリッシュさを感じられる外観にしています。また、車端上部に車いすやベビーカー等をご利用のお客様にフリースペースの位置が分かりやすいようピクトグラムを用いたサインを掲示しています。
- ・インテリア
半蔵門線ラインカラーのパープルを基調に、車内床下から天井に向かって明るい色になるようなトーンオントーンの配色により、明るさや活気を感じさせる車内空間にしています。また、連結面、座席横の仕切り、及び荷棚に透明な強化ガラスを採用し、車内の開放感を高めています。



8000 系

08 系

18000 系



フリースペース

ピクトグラム



インテリア

2. 安全・安定性の向上

- ・「TIMA システム (車両情報監視・分析システム)」を導入し、走行する 18000 系車両の機器状態を、総合指令所や車両基地から遠隔でモニタリングします。
- ・万一脱線した場合にも、自動で列車を停止させる脱線検知装置を搭載します。
- ・犯罪行為の未然防止に備え、車両内へセキュリティカメラを搭載します。

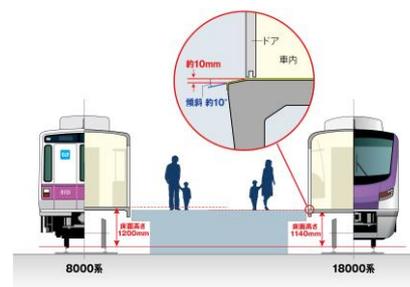


セキュリティカメラ

3. 車内快適性の向上

- ・消臭・抗菌・抗ウイルス加工が施された座席表地を採用します。
- ・座席幅を拡大します。(430mm→460mm) ※
- ・全車両にフリースペースを設置します。
- ・車両とホームの段差を低減します。
 - 車両床面の高さを低減 (1,200 mm→1,140 mm) ※
 - ドア出入口下部の形状をホーム側に傾斜
- ・フリースペース付近のドアのレールに切り欠きを施し、車いすやベビーカーをご利用のお客様の乗降性を向上します。

※8000 系車両との比較



車両床面の高さ低減・ドア出入口下部形状のホーム側への傾斜

4. 環境負荷低減

- ・従来の 8000 系と比べて、高効率な永久磁石同期電動機 (PMSM) とシリコンカーバイド (SiC) 素子を利用した制御装置の採用により、消費電力量を削減します。



ドアレールの切り欠き (フリースペース付近)